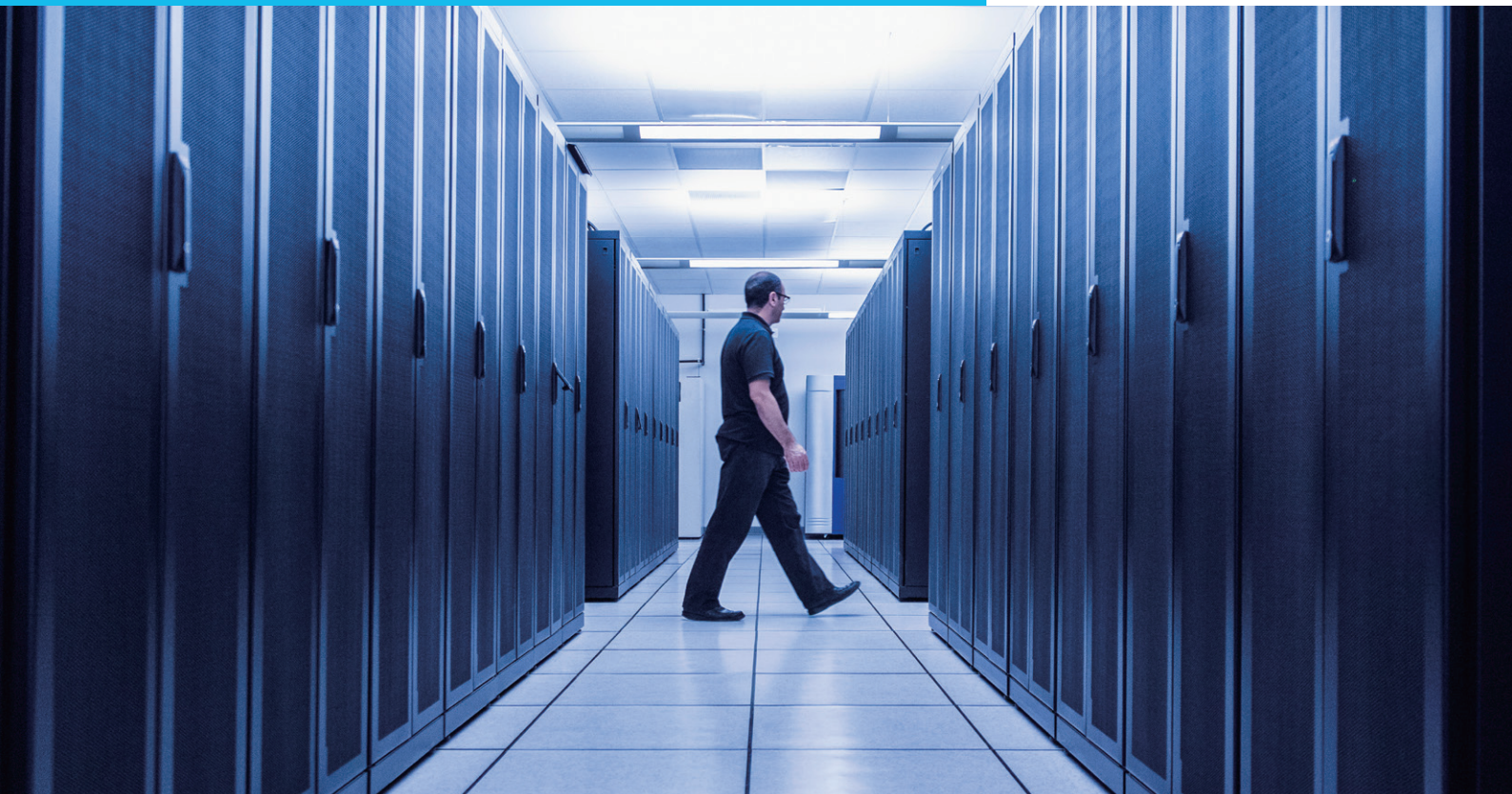


日鉄ソリューションズの マルチクラウド基盤を進化させる NetApp オールフラッシュアレイ & オブジェクトストレージ



第3世代へと進化したマネージドクラウドサービス「absonne」 の顧客価値を高めるエンタープライズグレードの高速ファイル サービス

日鉄ソリューションズが提供する「absonne(アブソヌ)」が、マルチクラウド対応のマネージドクラウドサービスへと大きな進化を遂げました。ミッションクリティカルな要求に応え、顧客企業の多様なシステムを「そのまま、まるごとクラウド化」できる本サービスは、性能、可用性、信頼性、柔軟性を強化して着実に支持を拡大させています。

この第3世代 absonne から提供される「エンタープライズグレードの高速ファイルサービス」を支えているのは、NetApp AFF A400 オールフラッシュアレイと NetApp StorageGRID オブジェクトストレージによる統合システムです。オールフラッシュならではの圧倒的なパフォーマンスで優れたユーザー体験を実現しながら、FabricPool によるオブジェクトストレージへのティアリングにより投資対効果を大幅に向上させています。absonne の進化を加速させ

50%以上
NetApp AFFによる
重複排除・
圧縮効果

“absonneのマルチクラウド対応を強化していくうえで、将来的にネットアップのテクノロジーを活用できる可能性は大いにあると思っています”

日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部 クラウドプラットフォーム事業部
クラウドソリューション部長 小野寺一浩氏

ながら、新しい顧客価値の創造に挑む日鉄ソリューションズの先進事例を紹介します。

マルチクラウド対応マネージドクラウドサービスへの進化

日鉄ソリューションズは、世界屈指の鉄鋼メーカーである日本製鉄の情報システム部門を源流に持つITサービスカンパニーとして50年以上の歴史があります。1968年に、社会の潮流に先駆けて24時間365日ノンストップの一貫生産管理システムを開発して以来、「鉄のDNA」は同社の企業文化として脈々と受け継がれてきました。ITインフラソリューション事業本部クラウドプラットフォーム事業部クラウドソリューション部長の小野寺一浩氏は次のように話します。

「ITインフラソリューション事業本部では、停止の許されないミッションクリティカルな環境から、クラウドネイティブなDXプラットフォームまで、強さとしなやかさを備えたシステムを幅広く提供しています。品質を徹底的に作り込む『鉄のDNA』は、私たちの最大の強みであり、お客様からの信頼の基盤ともなっています」

2021年5月、日鉄ソリューションズは、マネージドクラウドサービス「absonne(アブソンヌ)」を大幅に機能拡張しサービス提供を開始しました。2007年に最初のサービスを開始したabsonneにとっては、2012年に続く2度目のリニューアルです。

「第3世代absonneの最大の特徴は、ミッションクリティカルな要求に応える『マルチクラウド対応マネージドクラウドサービス』への進化です。性能、可用性、信頼性を高めながら、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud、Oracle Cloud等との連携を強化し、更なる柔軟性・俊敏性を実現しました。プライベートクラウドとパブリッククラウドを適材適所で使い分けることで、お客様のあらゆるニーズにワンストップでお応えすることができます」(小野寺氏)

第3世代absonneでは、「エンタープライズグレードの高速ファイルサービス」がさらに強化されました。NetApp AFF A400オールフラッシュアレイとNetApp StorageGRIDオブジェクト



日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部 クラウドプラットフォーム事業部
クラウドソリューション部長 小野寺一浩氏

ストレージが、本サービスの中核を支えています。

快適なデータ活用と低コストのデータ管理を両立

NetApp AFFは、業界をリードするパフォーマンスとONTAP 9のデータ管理機能が高く評価されているオールフラッシュアレイです。第3世代absonneに採用されたNetApp AFF A400は、4Uの筐体でデュアルコントローラーをActive-Activeで稼働させ、高いパフォーマンスと優れた耐障害性を実現します。

一方、NetApp StorageGRIDは、世界中で豊富な実績を誇るオブジェクトストレージプライアンスです。データサイズやファイル数の制限がないAmazon S3互換のオブジェクトストレージであり、複数のデータセンターに分散配置したNetApp StorageGRIDを単一のネームスペースで管理できる特徴を備えています。クラウドソリューション部 エキスパートの氏家武志氏は次のように話します。

「absonneで提供されるファイルサービスは、企業の部門ごとに運用されてきたファイルサーバーの統合や、仮想デスクトップの共有フォルダ用途などでニーズが拡大しています。また、『ファイルの置き場』から『共同作業の場』へとファイルサービスの使い方が変化する中で、お客様の性能・容量への要求も高度化しています」

「より良いユーザー体験を提供するためには、オールフラッシュアレイが必須」と氏家氏らは考えていました。そして、性能と

容量、2つの要求に同時に応えるために導き出した戦略が「オールフラッシュレイから、オブジェクトストレージへのティアリング」です。

「高性能のオールフラッシュレイと、容量単価を低減する効果の大きいオブジェクトストレージを組み合わせることを前提に検討を進めた結果、NetAppのソリューションが第3世代absonneに最適であると判断しました。採用の決め手になったのは、FabricPoolによるインテリジェントなティアリング、さらにNetApp AFFとNetApp StorageGRIDという2つの環境を透過的に利用できる使い勝手の良さです」(氏家氏)



日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部
クラウドプラットフォーム事業部 クラウドソリューション部
エキスパート 氏家 武志 氏

NetApp AFFとNetApp StorageGRIDが、エンドユーザーから「ひとつのファイルサーバーとして見える(ティアリングの仕組みが見えない)」ことがポイントです。アクティブなデータはフラッシュ領域で快適に利用でき、オブジェクト領域に格納されたデータも「言われなければわからないほどスムーズにアクセスできる」(氏家氏)環境が整えられました。

また、NetApp AFFで利用できる重複排除・圧縮によるデータ量の削減は、投資対効果の改善に大きく寄与します。

「重複排除・圧縮によるデータ削減効果は50%以上に達します。NetApp AFFで扱うデータ量を大幅に削減するとともに、オブジェクトストレージへのティアリングによって、第3世代absonneのファイルサービス環境全体のコストを抑制することができました」(氏家氏)

エンタープライズグレードの高速ファイルサービス

absonneで提供されるファイルサービスを「エンタープライズグレード」にまで高めるには、ストレージの性能、可用性、信頼性、運用管理性、データ保護など幅広い要件を高水準で満たさなければなりません。NetApp AFFとNetApp StorageGRIDによる統合システムは、すべての要求に期待以上の成果で応えています。クラウドソリューション部の深瀬義弘氏は、さらに次のように加えます。

「マネージドクラウドとして提供する本環境では、優れたマルチテナンシーも不可欠な要件でした。NetApp AFFでは、ONTAP 9のStorage Virtual Machine (SVM)により、マルチテナント環境の厳格なセグメント化が可能です。さらに私たちは、ONTAP 9のQoS機能を利用してお客様ごとにIOPSと帯域の上限を設定し、常に快適にアクセスできる環境を整えました」

近年、BCP対策、ランサムウェアなどのセキュリティ対策として、ファイルサーバーにおけるデータバックアップの重要性が改めて注目されています。

「absonneのファイルサービスでは、お客様の指定したタイミングでスナップショットを取得し、ご要望に応じて東西データセンターでの遠隔地保護も可能です。NetApp AFFの導入により、業務時間内での多頻度のスナップショット取得もいっそう容易になりました」(氏家氏)

さらに、absonneのファイルサービス環境では、NetAppストレージの導入に際してSupport Account Manager (SAM)を同時に採用し、プロアクティブな運用監視・保守体制を構築しています。

「私たちの環境を熟知したネットアップのSAM担当が、サポートエンジニアと連携して問題解決に取り組んでくれるだけでなく、問題が顕在化する前に適切なアドバイスを提供してもらえます。ONTAPの計画的なアップデートを含め、中長期的な視点で潜在的なリスクを低減できるメリットは大きいですね。ファイルサービス環境を安定的に運用し続けるために、SAMによるサポート体制は欠かせないものとなっています」(深瀬氏)



日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部
クラウドプラットフォーム事業部 クラウドソリューション部
深瀬 義弘 氏

absonne マルチクラウド戦略の更なる推進

absonneのサービス基盤は、日鉄ソリューションズの経験・知見をフルに活かしたマルチベンダー環境として構築・運用されてきました。第3世代absonneでは、マネージドクラウドとしての顧客メリットを追求しつつ、ユーザー企業がセルフサービスで管理・操作できる領域が拡張されています。

「今後は、absonneを構成する技術スタックをさらにオープンにして、たとえばONTAPをお客様が直接操作できるようにすることも検討しています」と小野寺氏は話します。

マルチクラウド対応のマネージドクラウドサービスへと進化を遂げた第3世代absonneは、「クラウドファースト」を指向する企業にとって、有力な選択肢・現実解となるものです。そして、「ネットアップ製品とパブリッククラウドの親和性の高さには以前から注目していた」と話しつつ、小野寺氏は次のように結びました。

「absonneのマルチクラウド対応を強化していくうえで、将来的にネットアップのテクノロジーを活用できる可能性は大いにあります。目の前のチャレンジは、NetApp StorageGRIDによるエンタープライズ向けのオブジェクトストレージサービスの開発・提供です。新しいお客様価値の創造に向けて、ネットアップのテクノロジーと私たちの独自の知見を組み合わせ、誰にも真似のできないサービスを開発していきたいと考えています。これからも継続的なサポートを期待します」



NetApp products

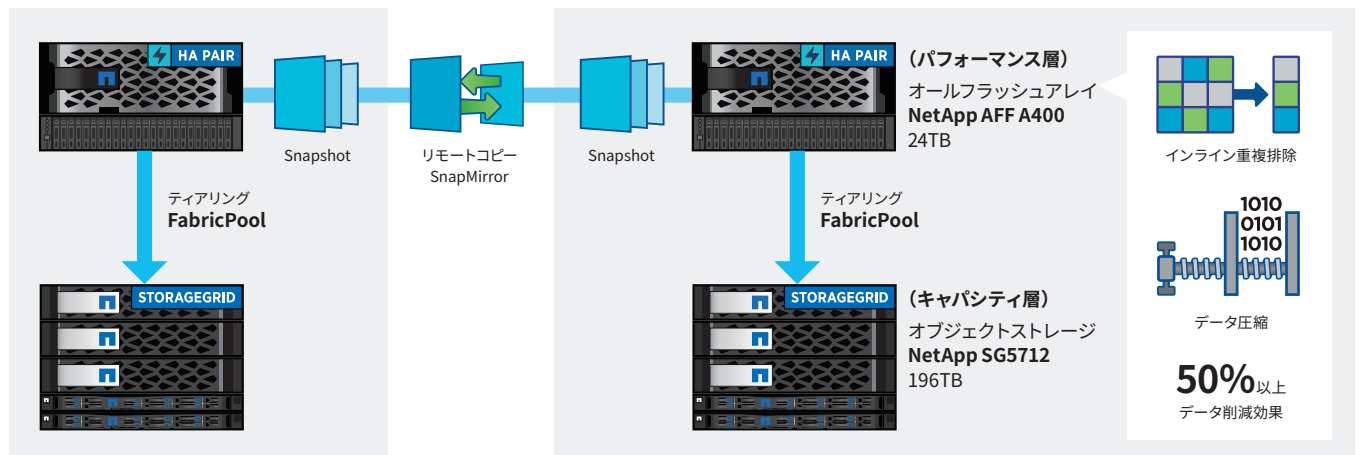
NetApp AFF
NetApp StorageGRID

Protocols

NFS、SMB
Amazon S3

西日本データセンター(同一構成)

東日本データセンター



ネットアップ合同会社

<https://www.netapp.com/ja/forms/sales-contact/>

ネットアップはグローバルなクラウド戦略で業界をリードする、Data-Centricなソフトウェア企業です。企業や組織が独自のデータファブリックを構築し、クラウドでの開発、クラウドへの移行、オンプレミスでの独自のクラウドレベルの環境構築など、データセンターからクラウドまでのアプリケーションを最適な状態で実行できるシステム、ソフトウェア、クラウド サービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、お客様とのコンタクトの強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図れるよう、パートナー様とともに取り組んでいます。

詳細については、www.netapp.com/jpをご覧ください。



NS Solutions、NS (ロゴ)、absonne は、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。
© 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 記載事項は、予告なく変更される場合があります。内容の一部または全部を NetApp, Inc の許可なく使用・複製することはできません。NetApp、NetApp ロゴ、SolidFire は、米国およびその他の国における NetApp, Inc の登録商標です。その他記載のブランド・製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。CSS-7262-0123-JP